

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：トルコギキョウの湿式輸送技術			
〔要約〕トルコギキョウの切り花出荷において、前処理剤及び輸送時の処理剤（1%スクロースと抗菌剤）を使用し、湿式（バケツ）輸送したものは、乾式（箱）輸送したものより、品質保持期間が長く、収穫後開花した小花の着色開花率が高い。			
キーワード トルコギキョウ 湿式輸送 鮮度保持			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター暖地園芸研究所花き研究室 協力機関 （独）花き研究所		
実施期間	2004年度～2006年度		

〔目的及び背景〕

新鮮で長持ちする切り花を消費者は強く望んでおり、花持ち（品質保持期間）の向上は消費拡大につながる。トルコギキョウの出荷において、輸送方法及び処理剤（前処理及び輸送時に使用）が品質保持期間に及ぼす影響を調査し、花持ちの良い輸送技術を明らかにする。

〔成果内容〕

- 1 収穫からせりまでの所要時間は、朝収穫し、選花場へ運ぶまでが約9時間、選花場から首都圏のセリ市場までが約15時間である（図1）。
- 2 処理剤を使用しない湿式輸送において、輸送温度10℃と20℃では、切り花の品質保持期間に明らかな差はない（表1）。
- 3 首都圏へ出荷する場合、箱輸送より処理剤を使用した湿式輸送のほうが切り花の品質保持期間は長い（図2）。なお、前処理剤及び輸送時の処理剤は、1%スクロース（ショ糖）と抗菌剤とする。
- 4 収穫後に開花した小花のうち、花色が鮮明に着色している割合（着色開花率）は箱輸送より処理剤を使用した湿式輸送のほうが高い（表2）。

〔留意事項〕

- 1 収穫した切り花を水あげ・前処理する時及び輸送する時に使用する容器と水は清潔なものをを用いる。
- 2 品種により処理剤の効果に差がある。

〔普及対象地域〕

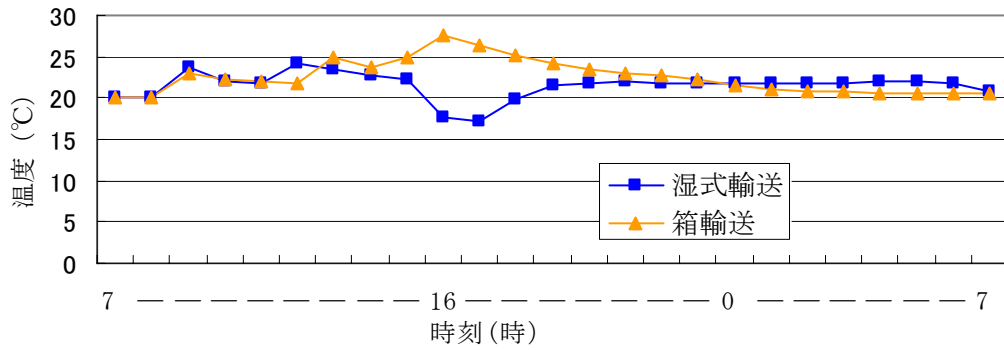
県下全域

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

安房地域において平成18年度より、トルコギキョウ切り花の湿式輸送による共選出荷が始まった。

[成果の概要]



収穫・出荷調整（前処理剤:9時間） 輸送 （輸送処理剤処理：15時間） セリ

図1 東京市場出荷時における出荷容器内の温度（7月調査）

注）湿式：低温輸送（20°C設定）、箱：常温輸送

表1 湿式輸送の輸送温度が品質保持期間に及ぼす影響（品種：「おり姫」）

輸送温度 (°C)	品質保持期間(日)
10	6.5
20	6.4

注）処理剤の使用なし。

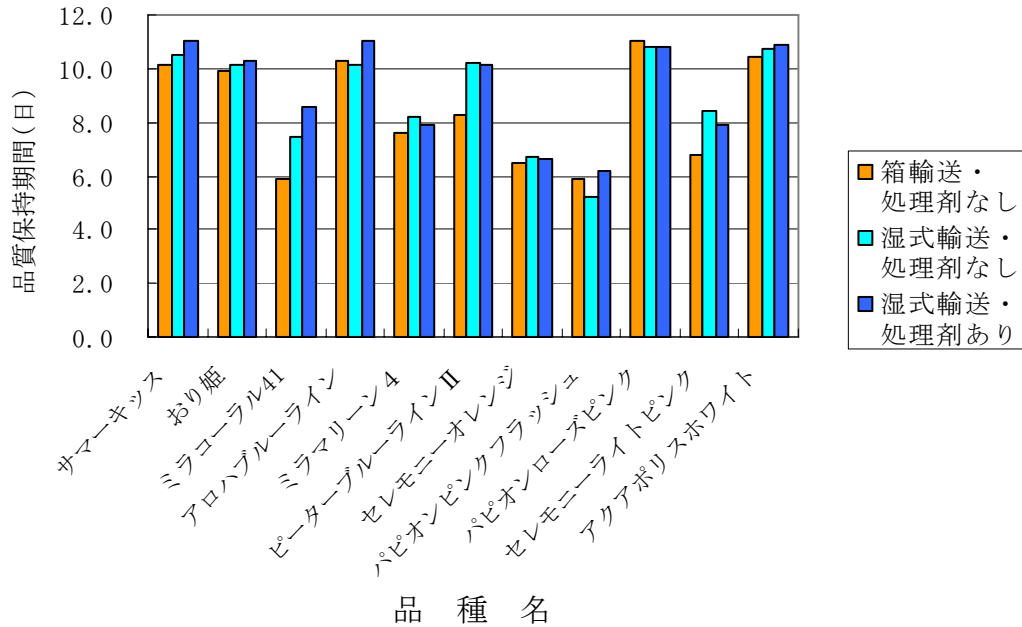


図2 輸送方法及び処理剤使用の有無が品質保持期間に及ぼす影響

注）前処理及び輸送時の処理剤として1%スクロースと抗菌剤を用いた。
調査は6月下旬から7月下旬に実施した。

表2 輸送方法が収穫後の着色開花率に及ぼす影響

品 種 名	着色開花率 (%)		
	乾式輸送	湿式輸送	
	処理剤なし	処理剤なし	処理剤あり
サマーキッス	12.0	14.3	32.7
おり姫	16.7	30.0	26.3
ミラコーラル41	23.8	23.8	26.7
アロハブルーライン	17.8	2.2	28.6
ミラマリーン4	16.7	5.4	22.5
ピーターブルーラインII	0.0	14.5	25.6
セレモニーオレンジ	10.0	0.0	11.8
パピオンピンクフラッシュ	21.4	8.3	53.1
パピオンローズピンク	64.4	67.6	77.1
セレモニーライトピンク	15.4	13.2	20.5

注) 着色開花率 = 収穫後着色開花数 ÷ 収穫後開花数 × 100

[発表及び関連文献]

千葉県農業総合研究センター暖地園芸研究所平成16～17年度花き試験成績書

[その他]

農林水産試験研究高度化事業「課題名：新規品質保持剤利用による切り花バケット流通システムの確立」(平成16年～18年)